

今日は明日への踏み切り板



寒暖の変化が激しい中にも、桜の便りが聞かれるようになり、心地よい暖かさを日一日と感じるようになってきました。保護者・地域の皆様には、益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

3月15日に第75回卒業証書授与式を挙行し、144名の卒業生が巣立ちました。卒業生の保護者・ご家族の皆様の感慨はひとしおであったことと拝察いたします。式辞の中で、予測不可能といわれる時代を主体的に生きていくために、卒業生に期待することとして、「自分の中心を大切にすること」について話をしました。

～式辞抜粋～

人生百年時代といわれる中、皆さんがこれから巣立つ社会は、**予測不可能な時代**といわれています。人工知能の発達に見られるように、人間の予想を遥かに超えたスピードで進化しています。その結果、物質的な豊かさの反面、人間関係の希薄化はもとより、日常においても心のゆとりを実感しにくい状況にあります。そういった社会を主体的に生きていくために、何を大切にしていかなければならないのか。卒業に際して、皆さんに話をしたいと思います。

『南斗はしたがいめぐれども北極はうつらず』奈良時代末期から平安時代にかけて、時代の大転換期を生き抜いた空海が残した言葉です。夜空の星は、時間と共に、刻一刻と動いている。しかし、星は、好き勝手に動いているわけではなく、北極星を中心にして動いており、北極星は決して動く事がない。人生もそれと同じだということです。変化の激しい時代だからこそ、決して動くことはない北極星のように、**自分の中心となる変化しない部分を持つ事が重要だ**と言っています。

皆さんはこれから先、「常に新たに」の精神の下、いろんな事にチャレンジしていくと思います。その場その場の状況に応じて**臨機応変に変化し、対応していく力は必要**です。しかし、予測できない社会の変化に、受け身で流されたり、その場だけの対応に追われたりするのは、本当の目標を達成することは難しいでしょう。中学校で培った中心となる変わらないところ、「**時間を守ること**」「**場を清め整理整頓すること**」「**礼を尽くし感謝の気持ちを伝えること**」そして「**仲間を思いやり大切にすること**」といった、人として生きていくための基礎基本を思い出してほしいと思います。主体的に社会に向き合い、関わり合う中で、**どんな時代が来ても変化しない自分の軸となる部分を大切に**して、挑戦し続けてほしいと思います。 ～後略～



成長とは、失敗しないことではなく、うまくいかないことがあってもあきらめずに行動していくことです。「今日は明日への踏み切り板」と言われます。今日という日をステップにして、大きく胸を張って明日へと踏み出していきましょう。義務教育9カ年を修了し、本校を巣立っていった卒業生の限りない前途に大いに期待しています。

また、本日修了式を行い、1,2年生全員の修了を認めたところです。この1年間、学校をご支援くださった保護者の皆様、本校生徒を温かく見守っていただいた地域の皆様方に感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

日	曜日	学 校 行 事
4	火	離任式 部活なし
6	木	着任式 クラス発表
10	月	1学期始業式 給食・部活なし
11	火	入学式 部活あり
12	水	～13(木) 仮入部 14(金) 一斉クラブ会
18	火	3年生全国学力・学習状況調査
20	木	～5/1(月) 家庭訪問 ※4/26は、なし



2023年U15レスリングアジア選手権大会日本代表選考会 【フリースタイル】近畿ブロック予選会 12/25 U15の部フリースタイル62kg級 優勝 土下 明起 (舞鶴レスリングクラブ)
第27回 舞鶴柔道選手権大会 中学生 団体の部 3/5 優勝 小龍 聖人 松尾 魁人 尾鳥 ずは 優勝 山本 絢斗 榎本 結斗 森山 颯
京都府中学生柔道体重別選手権大会 3/4 男子個人-55kg級 第3位 小龍 聖人 女子個人-52kg級 第4位 尾鳥 ずは
オープンネット第28回グランドチャリティ決定戦第3次選考会 3/2 2023年 京都大会 中学1年生女子の部 第3位 前多希空
第21回 ほくとしんきん杯京都府北部中学校野球大会 3/12 3位 舞鶴市立白系中学校 野球部
第25回綾部市バスケットボール協会招待大会 3/18 準優勝 舞鶴市立白系中学校 女子バスケットボール部
3/19 和田杯男子Sの部 準優勝 中西 暉仁 川岸 暉弥 ペア 和田杯男子Sの部 3 位 桐村 真央 砂田 陸 ペア
第42回 京都新聞書き初め展 優秀賞 村田 美月 名和 里爽



第75回卒業証書授与式 3/15



感染症予防のため来賓や在校生の参加がない式になりましたが、沢山の保護者の皆様に見守られながら、卒業生144名が巣立っていきました。合唱「正解」は体育館に響き渡り、感動的な卒業式になりました。卒業おめでとうございます。～この学校だよりで在校生や保護者の皆様、地域の皆さまに卒業式のメッセージを届けます。～



卒業生『決意の言葉』

暖かい春の日差しが、私たちの進む道を照らしてくれるかのように感じる今日三月十五日。私たちは中学校の三年間というかけがえない時(とき)を経て、卒業という日を迎えました。このような素晴らしい式を開いていただいた、先生方、お忙しい中、私たちの門出を祝いに来てくださった、保護者の皆様、ありがとうございます。白系中学校で過ごした三年間は私たちが成長させてくれる場となりました。期待と不安を胸に入学した一年生。わからないことが多く、学校生活を送るのに精一杯でした。後輩ができて、先輩となった二年生。委員会や部活動では仕事が増え、内容も難しくなってきました。様々な困難に対して、自分たちなりの解決策を模索した一年間でした。総合のふるさと学習ではフィールドワークを通して、改めてふるさと舞鶴の良さを実感することができました。最高学年として、駆け抜けてきた三年生。二泊三日で行った修学旅行、昨年仕組みが大きく変わった体育祭、先生や生徒全員が一丸となって取り組んだ学校祭がありました。特に修学旅行では、クラスの団結力を高めたカッター体験、普段見ることのできない仲間的一面を発見できた、出し物など多くの思い出があります。また、事前学習も行っていた平和学習では、現地訪問を通して、全員が真剣に平和について考えることができました。たくさんの行事を通して、様々な意見をぶつけ合うことで、団結力が深まりました。また、日常の小さなことにも思い出がたくさん詰まっています。休み時間みんなで集った(つどった)廊下や生徒ホール。時に真剣に、時に面白くあった毎日の授業。人それぞれの視点や考え方に気づいたプレゼンテーション。先生が生徒と一緒に盛り上がった学年集会、ユニークな名前や内容の取組など、至る所に思い出の糸が張り巡らされています。その思い出に今でも浸っていたいところですが、終わりの時間が刻々と近づいてきました。私たちの長いようで短かった三年間の終わりの時です。新型コロナウイルスの影響で職場体験や校外学習、部活動の朝練習など様々なことができなくなり、規模も小さくなりました。しかしそのような事態にも負けることなく、自分たちなりの最高の思い出を作ることができました。それは、他の学校にはない、印象深い素敵なものです。私たちの強みは、取組や学校行事などで全員が全力で取り組めることです。この武器を使って、この先の人生でどんな困難にぶつかっても、必ず打ち勝って見せます。最後になりましたが今まで私たちを支えてくださった先生方、保護者の皆様、在校生の皆さん、私たちがここまで成長できたのは皆様のおかげです。今まで本当にありがとうございました。私たちは今日を境に離れ離れになってしまいますが、この決意を胸に、大空へ羽ばたいていきます。では、最後に私たちが心を込めて歌う「正解」をお聞かせください。卒業生代表 荒木 柊人



白系中学校では、長年にわたって詰襟、セーラー服を制服として採用してきました。現行の制服には、在校生はもちろん、本校卒業生や地域の皆さんにとっても愛着と誇りが持てる制服となっています。しかし、社会的背景や他校の制服見直しの動きを踏まえ、本校においても昨年度から検討し、令和5年度入学生(現小学6年生)より新たな制服となります。生徒が多様性の理解を深め、人権意識を高めるための学校教育環境づくりの一環として、現行の制服への愛着と誇りを大切にしつつ、その想いをさらなる未来へつなげられる制服に発展させていきたいと考えています。

【白系中学校の新たな制服】

舞鶴市立白系中学校 校長 秋原 栄人

本部役員、各委員の皆様にはお世話になりました。今後も本校の教育にご支援いただきますようお願い致します。

会 長	山中 宏介	会 計	田中 まり
副 会 長	上林 英生	議 長	大戸 由利亜
副 会 長	木下 恵	議 長	垣内 秀夫
書 記	東 秀代	監 事	奥田 康恵
会計監査	小林 裕介	会計監査	岡見 葉美
1年学年委員長	水谷 熱	副委員長	白井 琴野
2年学年委員長	岩本 里奈	副委員長	上西 明
3年学年委員長	多田 慎哉	副委員長	上西美貴子
6組学年委員長	山崎真秀巳		
人権啓発委員長	林 裕美	副人権啓発委員長	矢野 武
見守り委員長	辻 晶子	副見守り委員長	藤山 貴弘

白系中学校PTA活動について
舞鶴PTA連絡協議会 表彰 前野 愛さん

長年にわたり白系中学校区(新舞鶴小学校・白系中学校)のPTA本部役員を通算4年その内2年はPTA副会長の要職に就き、PTA活動の発展に大きく貢献されました。また、令和元年度に実施された白系中学校区の人権講演会においては、講演者の選出に関して積極的に働きかけ、オリンピック出場選手等を招くことができました。本校在任中は大変お世話になりました。受賞おめでとうございました。今後のさらなるご活躍を願っております。

★ペットボトルキャップ回収のご協力ありがとうございました
おかげさまで合計320,000g回収し再生プラスチック原料として換金され、医療支援、ワクチン支援など様々な社会貢献活動に役立てられます。地域にある(株)井木商事様に回収に来ていただきました。ありがとうございました。※参考:1kgを430個としたら、約860個で約1人分のポリオワクチンとなります。